

選抜大会組合わせについての申し合わせ事項

I 選抜大会出場権枠

- I. 1 団体試合の総出場枠は、55校とする。その内訳は、各都道府県に1校の出場権枠を与える。ただし、開催地については、これとは別に1校の出場権枠を与える。また、各ブロックにブロック推薦枠を1校の出場権枠を与える。
- I. 2 女子個人試合の総出場枠は、141名とする。その内訳は、各都道府県に3名の出場権枠を与える。
- I. 3 男子個人試合の総出場権枠は、94名とする。その内訳は、各都道府県に2名の出場権枠を与える。

II 選抜大会についてはシード枠をおかない

III 組合せの原則

- III. 1 組合せにおいては、フリー抽選を原則とする。
- III. 2 同一都道府県校は、第1コートと第2コートにそれぞれ均等に振り分ける。
- III. 3 同一都道府県選手は、第1コートと第2コートに3選手が入らないように順番に振り分ける。
- III. 4 個人試合は、準決勝まで同一都道府県選手が対戦しないように振り分ける。
但し、開催県については準々決勝まで同一都道府県選手が対戦しないようにする。
- III. 5 組み合わせ抽選会において審議が必要な事項が生じた場合は、立ち会いの常任委員の協議により決定する。

《団体試合手順》

抽選順番の都道府県を決定する。(ブロック推薦枠出場のある都道府県より決定する) ブロック推薦枠出場のある都道府県2校の順番を決定する1コート、2コートに分ける2校出場の都道府県が終了した後は、コートを分けずに抽選を行う。

《個人試合手順》

- ① 抽選順番の都道府県を決定する。(1~47番)
- ② 三選手の順番を決定する。(1~3番)
- ③ 1コート、2コートを上下で2分割し、1コートの上段をAブロック、下段をBブロック、2コートの上段をCブロック、下段をDブロックとし、1番の選手をAブロック、2番の選手をBブロック3番の選手をCブロックに振り分ける。
- ④ 次に各ブロックの番号を引き場所を確定する。
- ⑤ 次の都道府県の1番の選手はDブロック、2番をAブロック、3番をBブロックに振り分け、同様にブロック内の番号を引き、場所を確定する。
- ⑥ 出場者が総出場者に満たない場合は、D・C・B・Aブロックの順番で人数を減らしてトーナメント表を作成する。